HBL-52□胞

300188

HBL-52□、特に視神経管に局在するグレードⅠの移行性髄膜腫に由来するヒト細胞株である。この細胞株 □成人女性患者に由来し、上皮様形態を示す。髄膜腫 □典型的な良性腫瘍で、脳と脊髄を包む膜層である髄膜から発生する。移行亜型 □、腫瘍細胞が線維性と髄膜上皮性の特徴を混合して示す組織学的カテゴリーを示す。
最近の研究で□′HBL-52細胞が、抗炎症作用と抗がん作用を持つ天然由来のポリフェノールであるレスベラトロールに反応することが注目されている。レスベラトロール□HBL-52髄膜腫細胞の増殖を阻害することが分かっており、髄膜腫、特に視神経管のような重要な部位に存在する髄膜腫の管理や治療における治療的役割の可能性を示唆している。この細胞増殖の阻害□、薬理学的研究と薬剤試験におけるHBL-52の有用性を強調し、腫瘍増殖動態に影響を及ぼす可能性のある化合物の有効性を評価するための貴重なモデルを提供する。 HBL-52細胞株□、その起源と良性であることから、特に視神経管のような特異な解剖学的部位における髄膜腫の発生と進行の根底にある細胞挙動と分子機構を理解する上で、髄膜腫の病態を研究するための貴重なモデルである。

概要

□明

HBL-52□、特に視神経管に局在するグレードⅠの移行性髄膜腫に由来するヒト細胞株である。この細胞株 □成人女性患者に由来し、上皮様形態を示す。髄膜腫 □典型的な良性腫瘍で、脳と脊髄を包む膜層である髄膜から発生する。移行亜型 □、腫瘍細胞が線維性と髄膜上皮性の特徴を混合して示す組織学的カテゴリーを示す。
最近の研究で□′HBL-52細胞が、抗炎症作用と抗がん作用を持つ天然由来のポリフェノールであるレスベラトロールに反応することが注目されている。レスベラトロール□HBL-52髄膜腫細胞の増殖を阻害することが分かっており、髄膜腫、特に視神経管のような重要な部位に存在する髄膜腫の管理や治療における治療的役割の可能性を示唆している。この細胞増殖の阻害□、薬理学的研究と薬剤試験におけるHBL-52の有用性を強調し、腫瘍増殖動態に影響を及ぼす可能性のある化合物の有効性を評価するための貴重なモデルを提供する。 HBL-52細胞株□、その起源と良性であることから、特に視神経管のような特異な解剖学的部位における髄膜腫の発生と進行の根底にある細胞挙動と分子機構を理解する上で、髄膜腫の病態を研究するための貴重なモデルである。

ティッシュ	脳
病気	髄膜腫、良性細胞

同義語

- HBL 52

分類

生物	人間
セックス	女性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮様

識別子

引用

HBL-52 (Cytion カタログ番号 300188)

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_4220

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

発現と感受性

タンパク質の発現

DP（デスモプラキン）+ ′ PG（プラコグロビン）+ ′ PP1 - ′ PP2 + ′ PP3 -（PP=プラコフィリン）、Dsc1 - ′ Dsc2 + ′ Dsc3 +（Dsc=デスモコリン）、Dsg1 - ′ Dsg2 + ′ Dsg3 -（Dsg=デスモグレイン）、N-カドヘリン+ ′ PGP2 + °

取り扱いと飼育

培地

McCoys 5a ′ w: 3.0g/L グルコース、w: 安定グルタミン、w: 2.0mM ピルビン酸ナトリウム、w: 2.2g/L NaHCO3 (Cytion article number 820200a)

培養雰囲気	37℃ ′ 5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した細胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコで□3-5ml ′ T75フラスコで□5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコで□1-2ml ′ T75フラスコで□2.5mlのアキュターゼで細胞を完全に覆う。室温で 8-10分間インキュベートし、細胞を剥離させる。インキュベーション後、細胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、 300xgで3分間遠心する。上清を捨て、細胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

播種密度	5×10³細胞/cm²で□、約4日でコンフルエントな層が形成される。 9×10³細胞/cm²を超える播種密度□推奨されない。
流体の更新	週2～3回
解凍後の回復	細胞を少なくとも24～48時間接着させる。

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染□ ′ PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
細菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、細胞培養物 □毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地として□ ′ 50%基礎培地＋40%FBS＋10%DMSO、また□CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用する。この培地に□、回復を促進し、凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤が含まれている。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存□、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された細胞株□、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

寄付者

ドナーの年齢	47年

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣　□不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中また□液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中に □、フェイスマスクまた □安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これ □、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオン□、製品の品質と生存率を保証します。
当社で□、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、細胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／また□製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳細について□ ′ <a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB